

堤防決壊 生井村(現・小山市)



堤防決壊地点の様子(熊谷市久下地先)



決壊の跡碑



堤防が壊れ溢れ出した濁流(加須市)



カスリーン台風から70年 パネル展

葛飾区亀有小学校



向古河(現・加須市)付近堤防上避難状況



線路上に避難する人々(葛飾区)



葛飾区の浸水状況



1947年9月、カスリーン台風が日本を襲来

勢力が弱く、本土上陸もしなかった台風が、記録的な豪雨という思わぬ展開を見せた…



1947年(昭和22年)9月、大正・昭和・平成の時代を通じて、荒川に最大の洪水被害をもたらすことになった「カスリーン台風」が襲来しました。

すでに停滞していた前線により多少の降雨が続いていたところへ台風が接近し前線を刺激、さらに台風の進行速度がかなり遅かったため、流域の**広範囲にわたって多量かつ高強度の降雨**をもたらしたのです。

カスリーン台風の総雨量は
**熊谷で339.8mm、
秩父で609.5mm**
を記録しました。



計画を遥かに越える流量が荒川をはじめ関東の河川を壊滅状態へと追い込んだ…

カスリーン台風と前線活動との相乗効果でもたらされた豪雨により、関東の各河川は記録的な水位を示しました。

いたる所で堤防が壊れ、水があふれ出し、水に浸かってしまった土地の広さは**東京都全体の広さ218,800haよりも広い約230,000ha**にもなっていました。



カスリーン台風による洪水で浸水した地域(関東地方)

荒川でも!! カスリーン台風の被害

死者1,100名、**自然が持つ破壊の凄まじさ**に戦慄が走る。

カスリーン台風による洪水の猛威は止まる所を知らず、**いたる所で堤防の決壊、崩壊**が見られました。打ち碎かれた堤防から溢れ出す濁流は流域を飲み込み、多数の死傷者や行方不明者を出し、家屋は流出、倒壊、浸水し、収穫前の田園風景も一面、海原と化してしまいました。

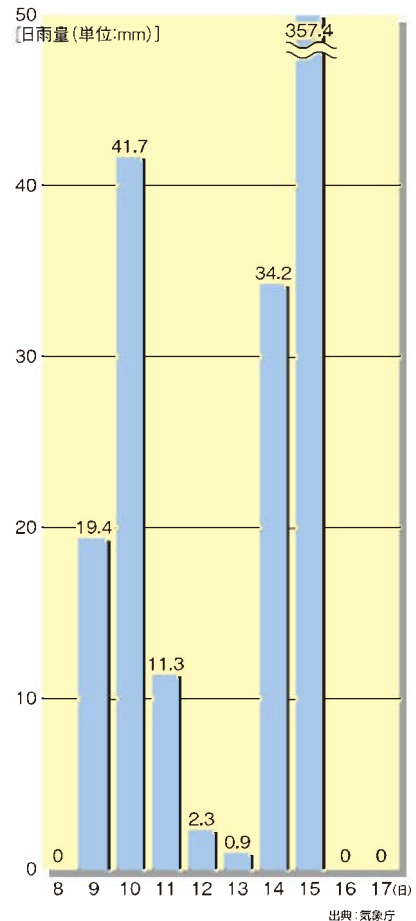
●関東の被害状況

都県名	家屋浸水(戸)		家屋流出・倒壊(戸)	家屋半壊(戸)	死者(人)	傷者(人)	田畑の浸水(ha)
	床上	床下					
東京	72,945	15,485	56		8	138	2,349
千葉	263	654		6	4		2,010
埼玉	44,610	34,334	1,118	2,116	86	1,394	66,524
群馬	31,091	39,938	1,936	1,948	592	315	62,300
茨城	10,482	7,716	209	75	58	23	19,204
栃木	45,642		2,417	3,500	352	550	24,402
合計	303,160		5,736	7,645	1,100	2,420	176,789

●荒川の主な大正以降の水害

発生年	発生原因	被害状況
1917年(大正6年)	大正6年9月台風	死者・行方不明者 576人 浸水家屋 182,516戸
1938年(昭和13年)	昭和13年8月台風	死者・行方不明者 85人 浸水家屋 119,200戸
1941年(昭和16年)	昭和16年7月台風	死者・行方不明者 0人 浸水家屋 28,122戸
1947年(昭和22年)	カスリーン台風	死者・行方不明者 109人 浸水家屋 204,710戸
1958年(昭和33年)	狩野川台風	死者・行方不明者 42人 浸水家屋 505,574戸
1974年(昭和49年)	台風16号	死者・行方不明者 1人 浸水家屋 3,330戸
1982年(昭和57年)	台風10号	死者・行方不明者 4人 浸水家屋 20戸
1982年(昭和57年)	台風18号	死者・行方不明者 1人 浸水家屋 19,294戸
1999年(平成11年)	熱帯低気圧	死者・行方不明者 0人 浸水家屋 2,363戸
2007年(平成19年)	台風9号	死者・行方不明者 0人 浸水家屋 13戸

●9月8日から17日までの日雨量 (前橋測候所(現・前橋地方気象台))



水に浸かっていない地域も、鉄道や道路、電気、ガス、水道等つかえなくなるかもしれないんだって。

カスリーン台風による 関東地方各地の被害



あかぎ しよかわ
赤城村(現・渋川市)



あしかが ほんらん
足利市での氾濫の様子



むかいこが かぞ
水に浮かぶ向古河(現・加須市)



ひがし けっかい
利根川 東村(現・加須市)の決壊状況



くりはし くせ しんずい
栗橋町(現・久喜市)の浸水状況



くさく ていぼう かつしかく
人力掘削による江戸川堤防の切り下げ(葛飾区)

カスリーン台風による 荒川洪水の被害



堤防決壊地点の様子 (熊谷市久下地先)



越辺川右岸 勝呂村大字島田 (現・坂戸市)



カスリーン台風による古谷村 (現・川越市) の浸水状況

出典 埼玉新聞社



善光寺境内 (川口市)

出典 埼玉新聞社



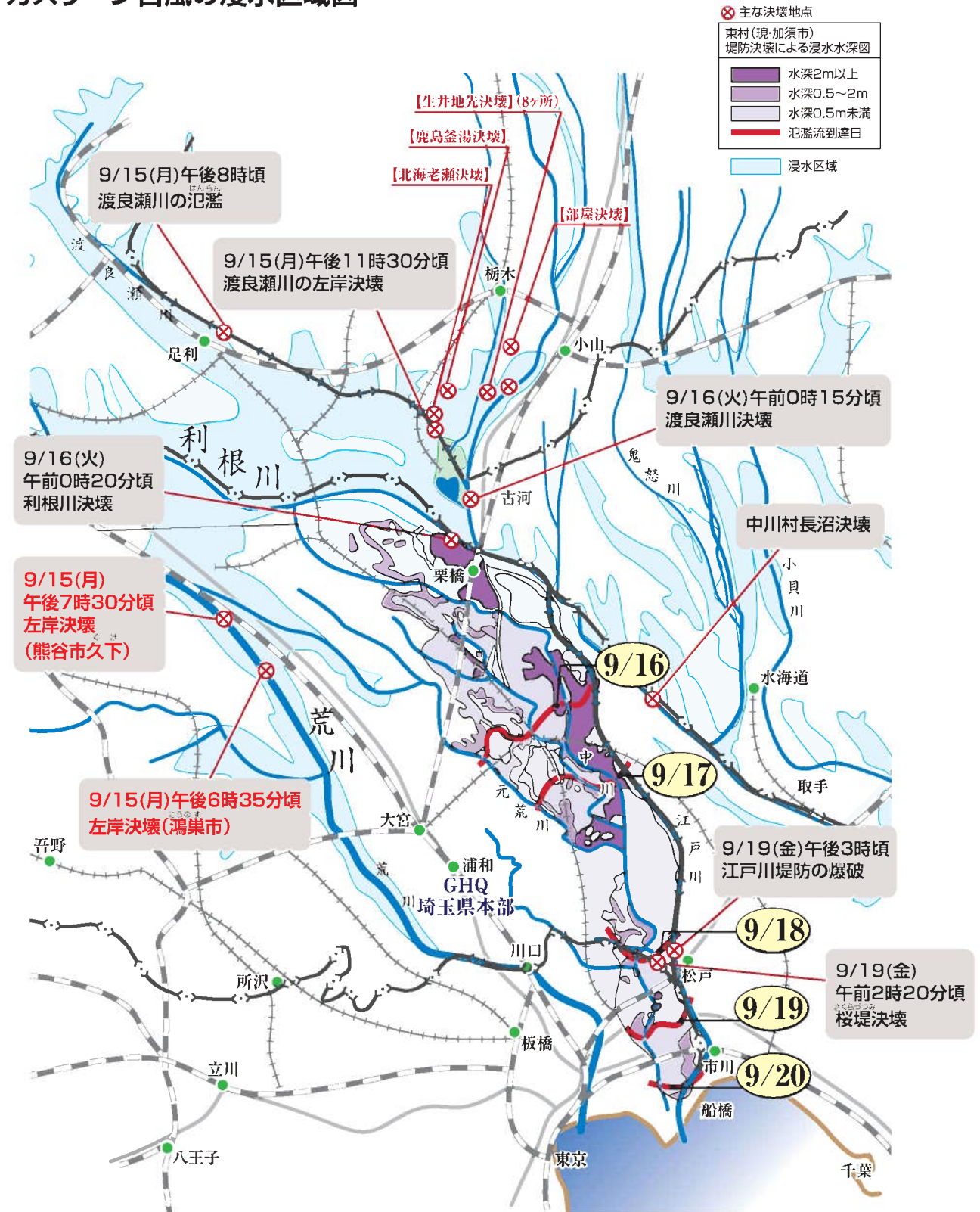
荷物を屋根へ引き上げる (足立区)



葛飾区の浸水状況

カスリーン台風による 決壊後の到達時間

カスリーン台風の浸水区域図



荒川^{あらかわ}や利根川^{とねがわ}など 埼玉県内の中小河川で^{けつ}^{かい}決壊

熊谷市^{こやのす}で約100m、鴻巣市^{こおのす}では約65mにわたり堤防が決壊。

洪水の発生状況

「カスリーン台風」による大雨で発生した1947年(昭和22年)9月洪水では、現在の鴻巣市で堤防が約65mに渡り決壊したのに続き、熊谷市久下^{くげ}地先でも約100mにわたり堤防が決壊しました。

本川だけでなく、入間川をはじめとする支川^{しせん}でも堤防が決壊し、濁流^{だくりゅう}が各所へ流れ出ました。

●熊谷市決壊箇所



出典：朝日新聞社/アマナイメーجز

水が引くまでに
1ヶ月かかった場所
もあるんだって。



堤防決壊地点の状況 1947年(昭和22年)10月米軍空撮

出典：国土地理院

●鴻巣市決壊箇所



堤防決壊地点の状況 1947年(昭和22年)10月米軍空撮

出典：国土地理院



決壊地点に鎮座する 「決潰の跡碑」

被害の大きさや人々の苦闘の様子、また治水対策の重要性を後世に伝える。

決潰の跡碑



決潰の跡碑 熊谷市久下地先

カスリーン台風による決壊地点に「決潰の跡碑」が建てられています。碑の裏面に碑文が刻まれており、被害の大きさや人々の苦闘の様子、また治水対策の重要性を後世に伝えています。



碑文

昭和二十二年九月九日トラック島附近に発生したカスリン台風は、猛威を振るいつ、同月十五日夜半房総半島南部に上陸した。このため熊谷地方も十四日早朝より降り続いた豪雨は、十五日夜に至るもやまず、風速相加わって猛烈を極め、すでに前日より警戒水位を突破して危険状態に陥った。本組合は、地元熊谷土木工営所及び警察署、並に各水防団、地元民等の応援を受け、官民一体となつて悪条件の下必死の水防作業を展開したのであるが、その苦斗もむなしく、濁流はうずを巻き氾濫凄惨を極め、全く手の施すすべもなかった。これがため、荒川左岸熊谷市大字久下地内堤防が十五日夜に至り同一一九番地先より一二三番地の間、大小二ヶ所延長百米余り決潰し、濁流は近傍の田畑を呑み、忽ちにして泥沼と化し、隣接吹上、大井、行田方面に氾濫し、住民、周章狼狽、人命の危うきを知り災禍より免かれるべく避難の道より外はなかつた。就中、約一時間遅れて下流の田間宮村行人堰附近約九〇米が決潰し、吹上、小谷、中井、糠田地区を呑み、濁流は更に元荒川に流入し、堤防を寸断して、箕田、下忍、埼玉、屈巢、笠原、種足、小林、加納、北本宿、常光、平野、蓮田、岩槻方面にも浸蝕し、総員必死の努力も功を奏せず未曾有の災害を蒙り、いよいよ荒魔を加え窮乏を増大するに至つたのである。此の秋にあたり水魔のいかに恐るべきかを知り我々郷土民の間にこれに対処する決意と、準備とを悟り、治水対策を十分にわきまえるべくこゝに碑を建立し、深い関心を拂われんことを広く世人に望むものである。

昭和三十三年 十一月 十五日
荒川北縁水害予防組合管理者 藤村篤治

熊谷市久下地先 決潰の跡碑 裏側の碑文

「決壊してからでは遅い」

という教訓を残した鬼怒川の水害

荒川上流河川事務所

2017年は、カスリーン台風から70年

2015年(平成27年)9月10日 鬼怒川左岸21K付近で約200mにわたり決壊。



鬼怒川の決壊状況

2015年(平成27年)9月10日、12時50分頃、常総市三坂地先(鬼怒川左岸21K付近)で堤防が約200m決壊し、氾濫流により多くの**家屋が流出**しました。避難勧告の遅れや主体的な避難が十分ではなく、約**4,300**人が救助されることになりました。



決壊箇所(常総市)

もし荒川の21K地点が決壊したら、**約110km²**、2015年(平成27年)におきた鬼怒川決壊の時の**2.5倍以上**の面積が水に浸かると予想されています。



決壊箇所付近の救助活動



浸水戸数は約1万棟、 孤立救助者は約4千人

常総市の約1/3の面積に相当する約40km²が浸水し、常総市も孤立。



インフラの被災状況



救出状況



決壊状況



常総市 三坂付近



常総市の
約1/3の面積に
相当する約40km²
が浸水し、甚大な被害が
発生しました。



石下駅の浸水状況

応急復旧と排水作業

応急復旧

堤防決壊の当日から開始し、応急復旧は**1週間で仮堤防を完成**。

堤防決壊の当日(9月10日)から応急復旧に着手。24時間体制で施工し、1週間(9月16日)で仮堤防(盛土)を完成、2週間(9月24日)で応急復旧を終了しました。



排水作業

最大51台のポンプ車を投入し排水を実施。

全国の地方整備局の応援により、日最大51台のポンプ車を投入し排水を実施。10日間(9月19日)で宅地及び公共施設等の浸水が概ね解消しました。



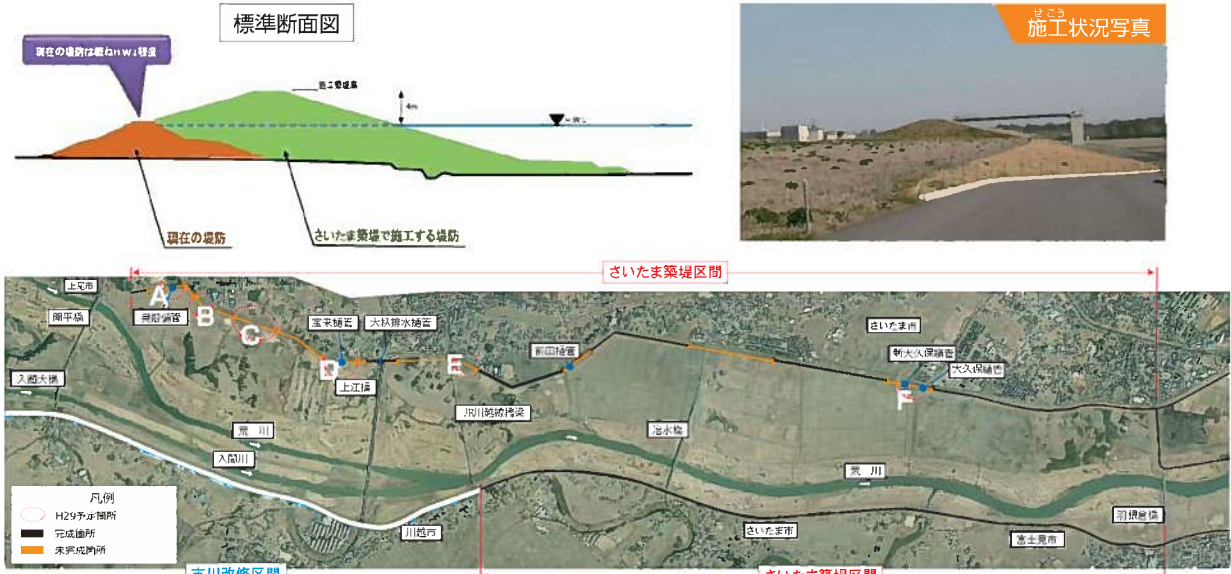
約**780万^m³**
(東京ドーム約6杯分)
を排水しました。

荒川の安全を守る 施設を整備

荒川上流河川事務所
2017年は、
カスリーン台風から70年

洪水を河川内で安全に流す対策

羽根倉橋より上流の堤防の幅、高さが不足している箇所について、**堤防整備を実施中**です。



A・B 上尾市西貝塚地先 C さいたま市西区峰岸地先 D さいたま市西区宝来地先 E さいたま市西区西遊馬地先 F さいたま市桜区大字在家地先

災害復旧、水防活動に資する基盤等の整備

さいたま市の西遊馬地区に水防活動のための資材を備蓄するなど**災害復旧活動を行うための基地**となる「**西遊馬地区河川防災ステーション**」の整備を実施中です。

完成予想図（洪水時）



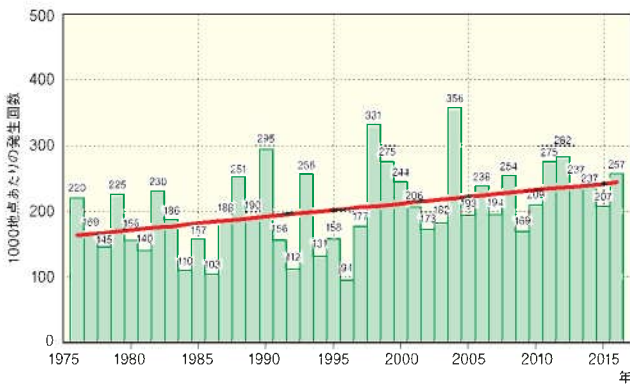
整備中（H29.3時点）



全国で頻発する集中豪雨 荒川でも氾濫がおこるかもしれない

これまでの観測記録を超える集中豪雨

1時間降水量50mm以上の年間発生回数では、10年あたり20.4回増加。



[アメダス] 1時間降水量50mm以上の年間発生回数 (1976年～2016年)

出典：気象庁

2017年(平成29年)7月九州北部豪雨

福岡県朝倉市・大分県日田市付近の大雨は、梅雨前線の南側100～200kmの位置で発生。

降水は狭い地域に集中し、24時間で500ミリ以上の降水量となりました。



【ヘリ位置】福岡県朝倉市
【撮影位置】福岡県朝倉市

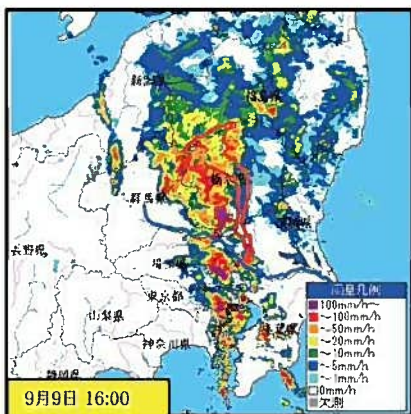
福岡県朝倉市の被害状況

出典：九州地方整備局

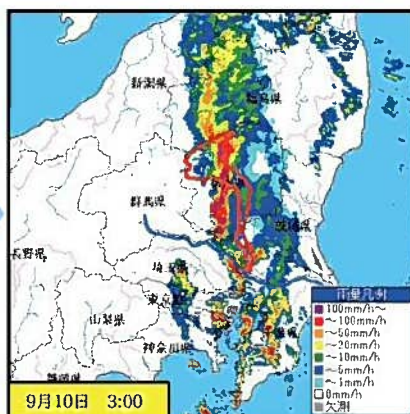
同じ場所を通過・停滞する線状降水帯

2015年(平成27年)関東東北豪雨では、台風17、18号に伴う線状降水帯によって、鬼怒川上流部では累計600mmを超える大雨を記録。

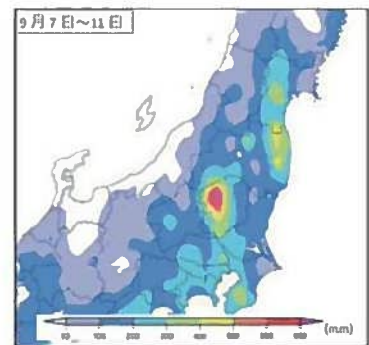
他人ごとではなく、荒川流域でも、発生する可能性はあるんだよ。



9月9日 16:00



9月10日 3:00



総降水量分布

時間が経過しても雨が降っている場所がほとんど変わっていないため、大雨につながりました

河川情報^{はん}や氾濫情報^{らん}を 的確^じに入手^{なん}することが大事^{だいじ}です

安全^{あんぜん}に避難^{ひなん}するためにも、色々な情報を集めておきましょう。

「ウチは大丈夫」では、いざという時、身を守れません。円滑^{えんかつ}・迅速^{しんそく}な避難のためには、**日頃から自分が住んでいる場所の水害リスク情報や避難場所を把握し、災害時には正確な情報を入手することが肝心です。**

ハザードマップ

市役所・区役所・町役場では、洪水が起きたときの水の深さや避難場所などが一目でわかる「洪水ハザードマップ」を見せてくれます。インターネットでも見る事ができるので、自分の避難場所を確認しておくことが、命を守る事につながります。



リアルタイム荒川情報

荒川やその支川の水位や雨量、ライブ映像などリアルタイムデータを見ることができます。最寄の地域を選ぶと、近くを流れる川の水位や、その水位が今どのような状態なのかを確認でき、自主的な避難行動に役立ちます。



防災情報を携帯電話やパソコンで確認

川の防災情報

- ① PC版 <http://www.river.go.jp/>
- ② スマートフォン版 <http://www.river.go.jp/s/>
- ③ 携帯版 <http://i.river.go.jp/>

家の近くの「水位観測所」をブックマークしておこう。



TVのリモコンの「dボタン」を押して、メニューの「地域の防災・生活情報」をえらんだあと、「河川水位・雨量情報」を選択できます。



NHKデータ放送TOP画面イメージ



携帯版
QRコード



スマートフォン版
QRコード

新たに提供開始!

避難勧告等が発令されたら 速やかに避難行動をとってください

逃げ遅れないために、どのタイミングでどう行動すればいいのか確認しておくことが大切です。早めの避難行動につなげるよう、とるべき行動の流れを把握しておきましょう。

時間の流れ

住民のとりべき行動



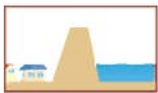
情報収集等

- テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認
- ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
- 非常持出し品の準備
- 家屋の被害を抑えるための自衛策の実施（家のまわりの排水溝の点検、風で吹きとばされそうな物の収容等）

様々な情報源から情報を集めましょう



避難判断水位【氾濫警戒情報】



避難準備情報

避難の準備
高齢者等は避難を開始

避難場所・経路を確認しましょう

氾濫危険水位【氾濫危険情報】



避難勧告

避難の実施

足元に気を付けて
落ち着いて避難しましょう

氾濫発生【氾濫発生情報】



避難指示（緊急）

危険回避行動



※1 氾濫注意情報などの各種情報は、国土交通省と気象庁が共同で発表する情報です。
※2 ※1の情報を目安に市長村長は、住民に対し避難に関する情報を発令します。

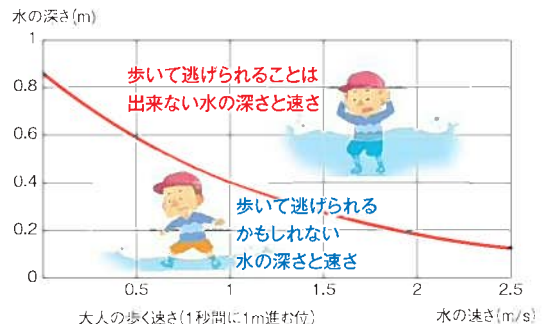
洪水が来ても、自分の背より低い水の深さなら、逃げられる？

川が氾濫したときは、水の流れとともに物も流れてきて非常に危険です。水の深さが30～50cmになると移動が難しくなり、何かにつかまらなると移動できなくなります。

そのため、**洪水が来る前に安全な避難所に逃げる**ことが大事になります。



命を守るためには、洪水がやってくる前に安全な避難所に逃げるのがとても大事なんだよ。



荒川浸水想定区域図

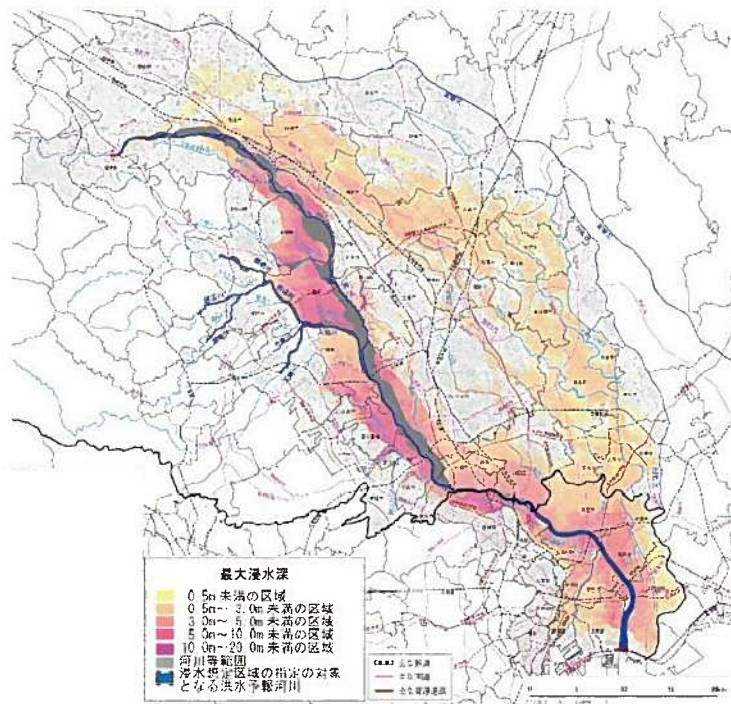
(想定最大規模)

おおむね1000年に一度の確率で発生する規模に相当する洪水。

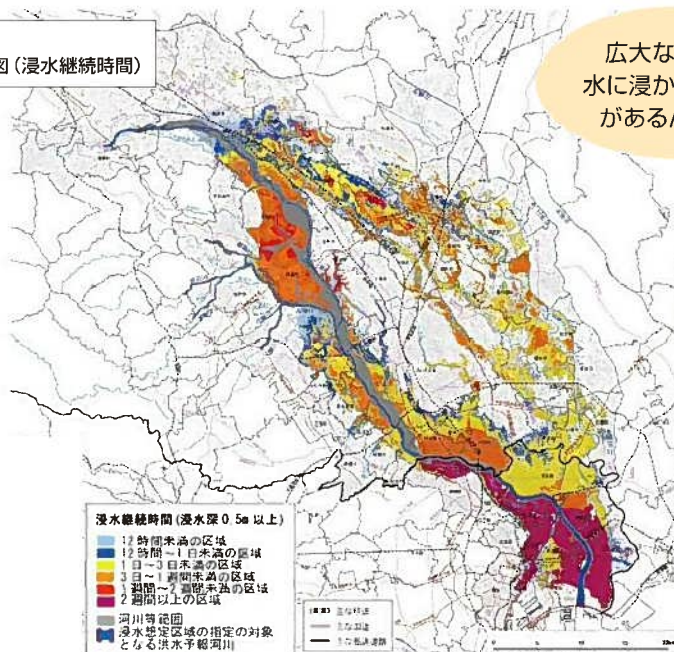
浸水想定区域図とは

水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

荒川水系荒川
洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



荒川水系荒川
洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



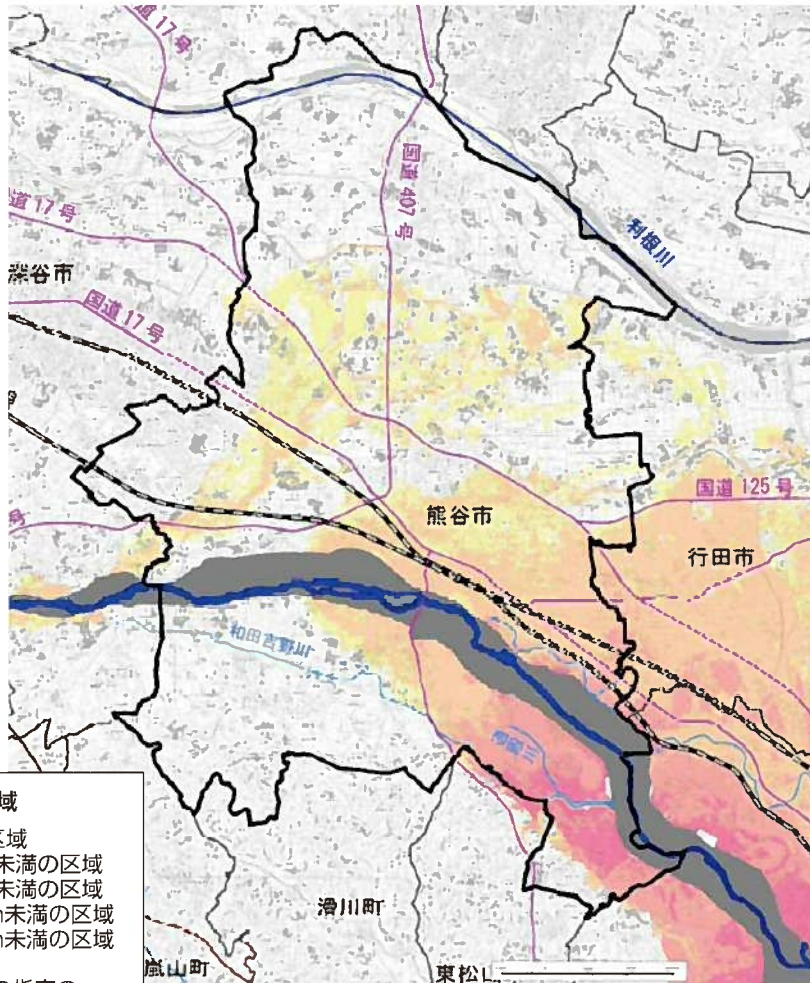
広大な範囲が
水に浸かる可能性
があるんだね。



地点別浸水想定区域図

(想定最大規模)

熊谷市



最大浸水域

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 河川等範囲

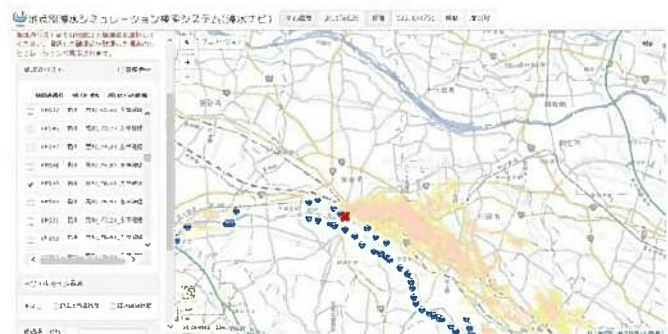
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

上記の地点別浸水想定区域図は、荒川上流河川事務所のHPでご覧になれますが、更にご自宅ですくご覧になるためには、下記の浸水ナビをご利用ください。

浸水ナビ

浸水ナビは、任意の地点において、関連する堤防の想定破堤点や浸水想定区域図を検索できるシステムです。どこで、いつ、どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見ることができ、また現在の水位がわかる川の防災情報HPへもリンクしています。

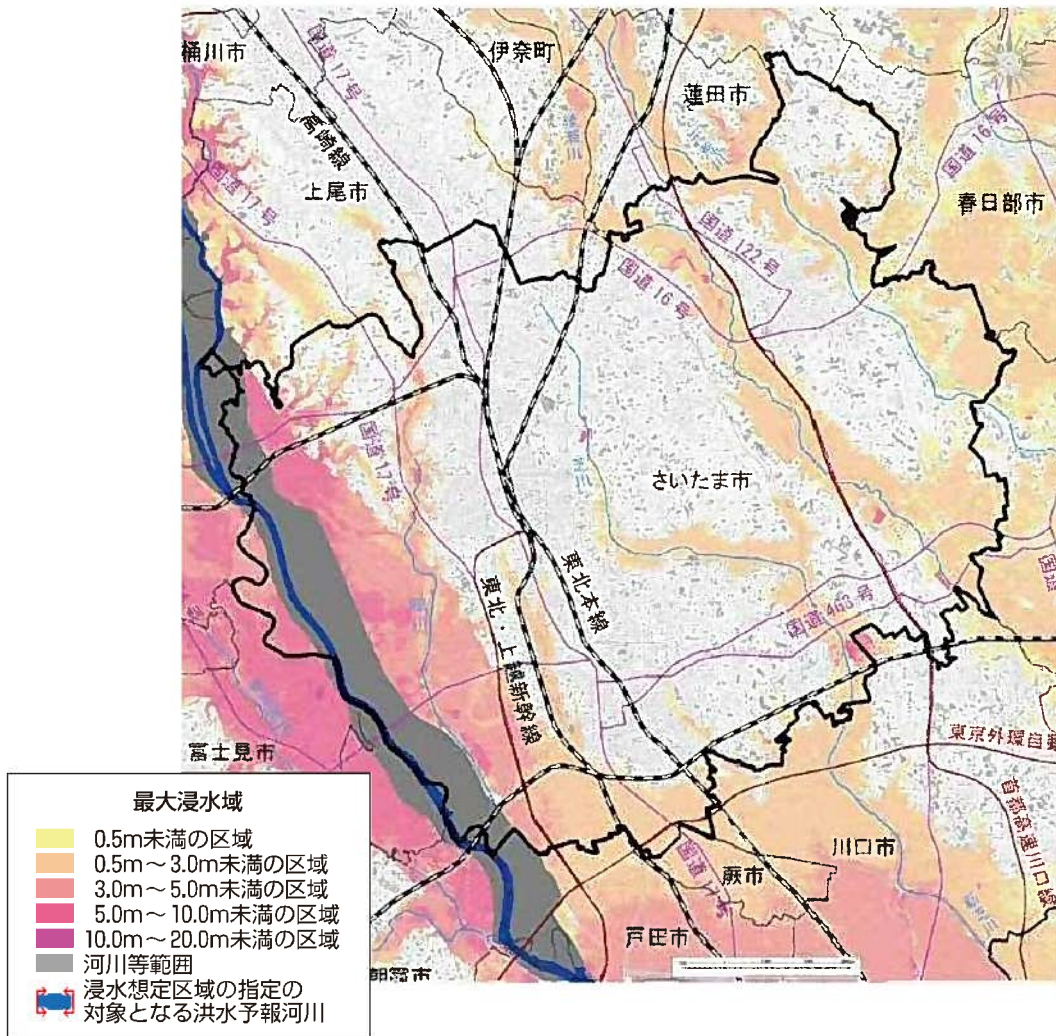
浸水ナビ:<http://sui boumap.gsi.go.jp/>



地点別浸水想定区域図

(想定最大規模)

さいたま市



上記の地点別浸水想定区域図は、荒川上流河川事務所のHPでご覧になれますが、更にご自宅ですくご覧になるためには、下記の浸水ナビをご利用ください。

浸水ナビ

浸水ナビは、任意の地点において、関連する堤防の想定破堤点や浸水想定区域図を検索できるシステムです。どこで、いつどのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見ることができ、また現在の水位がわかる川の防災情報HPへもリンクしています。

浸水ナビ:<http://sui boumap.gsi.go.jp/>

